



せがさきの風



〒236-0037 横浜市金沢区六浦東三丁目2番1号

<TEL>781-2446・2447 <FAX>701-4892

<MAIL> y3segasa@edu.city.yokohama.jp

<HP> <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/segasaki/>

まちは宝物 ～心をつないでいく～

副校長 登坂峰行

今年のお正月は暖かい日が続きました。しかし、1月17日の夜半から降った雪がうっすらとつもり、あつという間に雪景色になりました。小寒から立春までを寒の内と呼びますが、その言葉を実感する朝でした。校庭から見るアスレの木々はすっかり葉を落とし、冬の青空が視界いっぱい広がっています。平成27年度も残すところ2ヶ月となりました。

3年生は社会科で自分達のまちについて学習します。自分が暮らすまちの昔の様子やまちのよさについて学びます。地域の方々をお招きし、お話をさせていただきました。子ども達はどんなことが聞けるのか、期待感にあふれていました。昔の瀬ヶ崎や内川、柳町にはもっと海が広がっていたことや瀬ヶ崎小学校が建つ前の土地の様子を聞き、子ども達はびっくりしていました。今のまちの姿とは違う景色が、何十年も前は自分達の目の前に広がっていたことを想像したことと思います。昔の生活についてのお話では、いろいろな年齢の子どもと一緒に遊んでいても小さい子も楽しめるような工夫をしたことや、日常生活では家族が家事を分担していたこと、ご飯はかまどで炊くので火加減が難しかったことなどを聞きました。それぞれの方の体験談に子ども達は目を輝かせ、食い入るようにして聞いていました。続いて取り組んだ総合的な学習の時間では、お話を聞いたことや探検したことをもとに今のまちのよさを考えました。昔のよさが残っている場所や景色のよい場所などまちの自慢を見つけ、詳しく調べました。ふれあいフェスティバルでは、自分たちが伝える側となり、来場した方々に「大好き、瀬ヶ崎のまち」として発表しました。

まちの姿は時代とともに絶えず変化していきますが、住む人の気持ちはこれからも変わらないと思います。子ども達は様々な機会に、まちを見つめ、人や自然とかわり、これからの自分やまちのことを考えていきます。やがて成長した自分たちがまちを担うことや次の世代に伝えていくことの大切さを実感することと思います。昨年の朝会で大塚校長が「瀬ヶ崎小学校の宝物を教えてください。」の問いかけにいろいろな答えがありました。が、「瀬ヶ崎小学校の宝物はまちの人です。」「夏のお祭りが宝物です。」などと答えた子ども達がありました。このまちをいつまでも愛し、ふるさととして見守りそしてよさを伝えていくことと思います。

冬の間、アスレの森はひっそりと静まりかえっています。歩いていると「カサカサ」という音が聞こえます。音がした方をよく見ると、落ち葉の上を歩く小さな鳥や枝の上を行ったり来たりするリスの姿があります。2月4日は立春です。桜の花芽もまだ小振りですが、春が来るのを待ち望んでいるようです。子ども達が楽しく充実した学校生活が過ごせるよう、職員一同引き続き取り組んでまいります。